

お寄せいただいた意見	市の考え方（対応）
新規路線が開通したときは、バス会社は路線・時間表を新聞のチラシで配布を希望したい。	バス交通の利用促進では、路線の時刻・系統を広報していくことが重要であると考えており、今後も情報提供について事業者と連携して努めます。
小野田駅の列車時刻との連携を密にしてほしい。	JRの時刻は、バスの時刻改正に関係なく不定期に改正されており、バスの時刻も他の系統路線との乗り換え時刻の調整もあり、複雑な連携調整が必要になり難しい面もありますが、調整に努めます。
西高泊に住んでいます。狭い所を大型バスが空で往復しており、市の負担もありその度に無駄であり、小型で、朝・昼・夕の利用価値の多い時間帯、回数、方面等を検討してください。	高泊方面については、交通活性化計画の戦略プロジェクトになっており、今後も地域意見交換会を行って、地域の意見を反映した運行計画を検討し、利用状況を踏まえた上で、路線・車両サイズ・便数などを含む運行形態を検討していくこととしています。
高泊地区の路線について、市民病院、市役所やスーパー・医院などが多い国道190号を經由して、高泊小学校前を通る循環路線を提案します。	
小野田駅から厚陽方面に行く路線で、旧道ではなくスーパーなどの買物に行けるように、国道・高千帆バイパス経由に変更できないでしょうか。また、労災病院のバス乗入れが10月から運行開始となりましたが、国道・小野田バイパスを通ってバス停を設置したルートを検討していただけないでしょうか。	市街地の移動サービスについては、計画の中でも交通体系の構築を行って参りますが、バス交通の運行路線については、既存のバス路線との兼合いがあり、また交通安全上、警察署の公安委員会での承認も関係することとなり、難しい状況ではあります。
まるき中川店・マルシヨク竜王町店の近くにバス停を設置してください。	個別のバス停設置については、今後の利用状況を把握する過程で段階的に検討していきます。
奥若山は、地理的に労災病院に関係する人が多く通院・看護・見舞いなど利用者が多いので、丸河内経由の労災病院行きの路線を希望します。	市内には交通空白・不便地域が山陽地域だけでなく小野田地域にも散在しており、今後もそうした地域の解消をめざすことが課題となっており、段階的に移動の確保を行っていきます。
刈屋行き路線を延長して、大浜・焼野行きにできないでしょうか。きらら浜での行事だけでも、一時的に運行できないでしょうか。	小野田地域については、計画の整備方針の中で、効果的・効率的な交通体系を図ることとしており、路線の再編等の中で検討していきます。
本山地区に住んでいるので、日赤・雀田方面へのバスが是非ほしい。	現行では、乗り換え等で利用には御迷惑をおかけしますが、利用状況を把握しながら市街地移動の効率化を図っていく中で、路線再編も段階的に見直すこととしています。